

## 施工仕様書 「セラキューブSi」

用途 住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他の建築物（新築・改修）の内外壁面。  
適用下地 旧塗膜面、磁器タイル等の改修下地。コンクリート面、セメントモルタル面、  
プレキャストコンクリート部材、ALCパネル、その他各種板・ボード類等。  
施工不可部位 天端（笠木・手すり・セットバック等）や幅木、パラペットの施工は避けてください。

- ※ 本施工の前に必ず試験塗装を行い、希釈量（粘度）・塗付量（厚み）・色調等を確認し、標準見本が再現できるよう確認してください。
- ※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23℃（湿度50%）の場合ですが、低温・高温等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。

### 【目地なし】

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間
1 下地調整	・新設下地の場合、補修・清掃を実施した上、必ず下地の種類に応じたシーラー処理をしてください。 ・改修の場合、旧塗膜の状況や素地の状態に応じ、必要な処理および下地調整をしてください。 (脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)、補修、シーラーや下地調整塗材塗布など)				
2 主材塗り (下塗り)	セラキューブSi 20kg 清水 0.4~1.2kg	2.0~2.5	・リシンガン、万能ガン 口径: 5~6mm 圧力: 390~590KPa	1	3時間以上
3 主材塗り (上塗り)	セラキューブSi 20kg 清水 0.4~0.9kg	1.0~1.5		1	24時間以上 (最終養生)

### 【目地あり】

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間
1 下地調整	・新設下地の場合、補修・清掃を実施した上、必ず下地の種類に応じたシーラー処理をしてください。 ・改修の場合、旧塗膜の状況や素地の状態に応じ、必要な処理および下地調整をしてください。 (脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)、補修、シーラーや下地調整塗材塗布など)				
2 目地着色	目地着色材 20kg 清水 0~2kg	0.15~0.4	・リシンガン、万能ガン 口径: 4mm 圧力: 390~590KPa ・ウールローラー	1~2	24時間以上
3 墨出し	設計や元請の指示に従い目地割りし、水盛、振り下げまたはトランシットを使用して墨出します。				
4 目地棒貼付	目地棒を墨出しに沿って、正確に貼り付けます。				
5 主材塗り (下塗り)	セラキューブSi 20kg 清水 0.4~1.2kg	2.0~2.5	・リシンガン、万能ガン 口径: 5~6mm 圧力: 390~590KPa	1	3時間以上
6 主材塗り (上塗り)	セラキューブSi 20kg 清水 0.4~0.9kg	1.0~1.5		1	0~10分
7 離形紙取り	主材表面が乾燥する前に目地棒上部の離形紙を取り除きます。				
8 目地棒除去	目地棒を取り除きます。				24時間以上 (最終養生)

### ※注意事項

- ・ 主材塗り(下塗り)は、下地が均一に隠れるように吹付ます。この際、材料を吹き過ぎて流れないようにしてください。
- ・ 主材塗り(上塗り)は仕上げ吹きですから、山立ちをそろえながらムラなく廻し吹きし、やや厚めに吹き付けてください。
- ・ 薄め過ぎ、圧力の上げ過ぎ等は粗目の骨材がのらない原因となります。
- ・ 主材塗りは、リシンガン又は万能ガンを使用してください。
- ・ 吹付けの区切りは目地に沿って、テープ養生し、1ブロック毎に仕上ってください。
- ・ 専用目地棒を利用して適当なブロックで吹付け仕上することも可能です。この場合は隣接する面は完全に養生してください。